

## 第5章 今後の課題

新病院建設に関連する課題は、新病院建設の目的や期待する効果が実現するように計画することが必要である。なお、関連事業の事業主体は公共主体のものばかりでなくむしろ民間主体となるものも予想されるが、行政による計画指針や実施策を提言・指導することは求められる。

### ①医療関連

少子高齢化・医療費負担増加等の社会問題に備えるため、医療は限りあるものとの認識のなか、「地域医療の機能分担・連携の強化」「経営の効率化」「予病・治療・回復への意識の高揚」が求められている。新病院のまちなか立地により新医療体制の中心が整備されるため、これに対応した以下の事項が求められる。

- 新病院の基本理念、基本方針の再整理
- 志太榛原保健医療圏の状況を踏まえた新病院の規模、病床数等の再整理
- 新病院と一次医療との機能分担と連携策のさらなる検討・推進
- 医療連携の市民へのアピール
- 新病院や周辺施設での健康・保健関連イベントの検討
- 新病院の効率的経営策の検討

### ②まちづくり関連

新病院のまちなか創設効果を波及させ、まちづくりを継続・加速化するために求められることとして、来院の容易化に加え、新病院と一体化するまちの形成が必要であり、そのための検討課題は次の通りである。

来院の容易化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通網の強化策の検討</li> <li>○公共結節点の環境改善策の検討</li> </ul>
新病院と一体化するまち形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新病院と一体化する中心市街地整備計画の検討・推進</li> <li>○新病院へのアクセス歩道及び沿道施設の改良策の検討・推進</li> </ul>

なお、第4章第2節「まちなかの回遊性形成に向けて検討」に、まちづくりに関連事項を別記している。

### ③新病院計画関連

計画場所を早期に具体化したうえでの病院建設計画・設計の着手と建設に伴う詳細課題の解決策の検討が求められる。

新病院本体の計画検討にあたっては、耐震性等の防災性能について十分に配慮するとともに、災害発生時の対応も考慮した敷地活用及び施設計画の立案が求められる。

駐車場については、新病院の規模に応じた整備台数の検討が求められるとともに、その台数に

応じた、病院敷地内や病院周辺における駐車場整備や、病院周辺における既設駐車場との連携の検討が求められよう。その際、駐車場の使いやすさとともに、新病院と駐車場とをつなぐ歩行者動線における環境整備や、駐車場を利用する自動車による渋滞等の病院周辺部の交通影響を最小限のものとするための検討も求められよう。

新病院において必要となる機能によっては、周辺施設との連携も図ることが考えられる。

そして、なによりも新病院建設に不可欠な新病院建設関係者との協議・調整が求められる。

また、現病院用地の活用策の検討も、今後の重要な課題である。